

阪神・淡路大震災復興フォローアッププロジェクトの推進

震災から11年を経過した被災地の残された課題である「高齢者の自立支援」と「まちなぎわいづくり」への的確かつ効果的な対応を図るため、復興フォローアップ委員会からの提言等を踏まえ、「高齢者自立支援プログラム2006」、「まちなぎわいづくり推進プログラム2006」を策定した。平成18年度においては、このプログラムに基づき、重点的な施策展開を推進する。

また、県民一人ひとりが大震災を忘れず、安全・安心な共生社会づくりを進めるための「1.17は忘れない」取り組みについては、ひょうご安全の日推進県民会議が「ひょうご安全の日推進プログラム2006」を策定し、県、市町、団体等による幅広い取り組みを推進する。

【平成18年度当初予算：全体100事業、19,209,484千円】

